

61	筆算題叢		
	375.9-138, 375.9-138-2	明治8(1875)	山本正至、田澤昌永編
	明治初期の日本の算術教科書。		

- ◆ 本書の凡例には、「此書は泰西『クエッケンボス』『チャンプル』二氏の数学書より拔萃し且卑近の浅問数題を加えて初学の童子運筆の労を除くの一助として後の学者…」の記述がある。このことから、本書は、QuackenbosとChambers兄弟の著作を参考にしたことがわかる。全15巻、15冊。内容は、整数、分数、小数の加減乗除、比例などを扱っている。計算方法だけではなく、多数の文章題が収められている。なお、本書の練習問題の解答書として『筆算題叢答式』(375.9-138-3)がある。
- ◆ 当館は「山本正至、田澤昌永編輯」(1～9巻)(375.9-138)と「静岡算学社中撰」(内容は前者と同一。1～4巻)(375.9-138-2)を所蔵している。いずれも完全には揃っていない。

62	A Practical Arithmetic		
	AE-179	1867	G.P.Quackenbos著
	アメリカの算術教科書で、『筆算題叢』の基になったと思われるもの。		

- ◆ 本書は、カッケンボスの著した算術教科書シリーズの第3番目のもの。序文には、公立、私立学校の普通のクラスで用いられることを念頭につくられた、とある。なお、『筆算題叢』の練習問題の多くが本書から採られていることから、本書が『筆算題叢』の基になったことがわかる。一例をあげる。

Sold a picture for \$33, at a loss of \$8; what did the picture cost ?

「商人あり古画を金三十三円小売して八円の損有りといふ元買し時の値は幾何なりや」

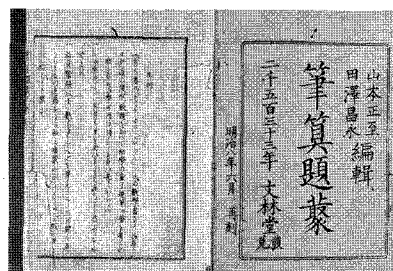
当館ではカッケンボスの算術教科書として、他に“An Elementary Arithmetic”(AE-176)を所蔵している。

63	Introduction to Arithmetic		
	AE-38		W. and R.Chambers著
	イギリスの算術教科書で、『筆算題叢』の基になったと思われるもの。		

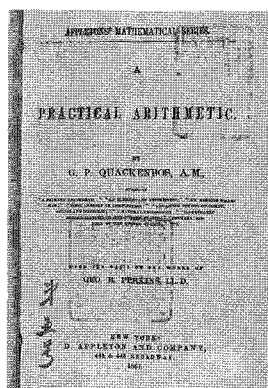
- ◆ チェンバース兄弟の“Educational Course”のうちの1冊。巻頭の「注意」には、「計算の規則の説明には、でき得る限りやさしい言葉を用いた」とある。

なお、『筆算題叢』には、本書から一部の計算問題がそのまま採用されている。

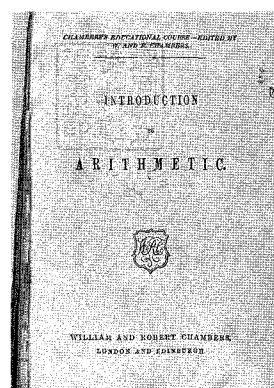
*複製本、マイクロフィルムあり。



61 筆算題叢



62 実用算術



63 算術入門